

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホームゆうあい 令和5年度

No.	タイトル	評価項目	あい自己評価	あい記述	ゆう自己評価	ゆう記述	運営推進会議での意見
Ⅰ. 理念・安心と安全に基づく運営							
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に交流する機会は減っている。2か月おきの地域運営推進会議は別会場で開催にとどまっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月おきの地域運営推進会議の開催くらいで、あまり出来ていない。	交流自体難しいのでは？コロナやインフルがあるから難しい。と言った意見が多数でる。この感染症の中いかに交流していくのが課題。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設外の別会場ではあるが、2か月おき地域運営会議を開催している。運営推進委員の方から意見を頂きサービスの向上に生かせるよう努めたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度途中より対面での運営推進会議を開催している。	もともとは〇〇を行っていたが、感染症の流行等により、交流する機会は減っており、あまりできていないが今後は〇〇を実施するなどを目指している。というように整理してみても意見もあり。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時には、相談・連絡を行い、協力関係を築いて取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者と連絡は取っているが、まだまだ不十分。今後、更に連絡を密にできるように努めていきたい。	市町村と密に連絡を取るのには現実的にあまりないのでは？ユニットごとに評価結果が分かっている。市町村との連絡がという点で不十分なのか、また今後どのようにしようと考えているのか？施設としては今後も必要時は連絡するというスタンスだと思われるが、さらに連絡を増やす検討をしていきたい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関先での面会ではあるが、ご家族のみならず、知人や宗教関係の方などの訪問がある。オンラインによるリモート面会も対応できるようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の希望に添えるようにしているが不十分と思われる。	コロナもインフルもなくならない。どこまで前の状態に戻すのか？ユニットごとに評価が分かっている。どういう事を目指し、現状としてどこまで取り組みができていますので (B、C) の評価というように記載してはどうでしょうか？
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様来所時や連絡時に現状を話し合い、スタッフ間で課題の検討を行い、介護計画のモニタリング、新たな介護計画を作成している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	ミニカンファレンスを開催し、情報の共有に努めており介護計画につなげていきたい。	同じ GH の中で分かれているだけで自己評価が大きく異なるのは、評価者の違いによる尺度によるものでしょうか？ここは事業所として併せるべきでは？ 個人個人の考え方は違うため評価も変わると、こちらでは判断した為このような結果が出たと思われる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報を収集し、出来る限りニーズを把握し対応できる様努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	事業所として十分に組み合わせていない。役割等を確認していきたい。	多機能化とは？多機能化は難しいのでは？こんごは出来ることはなるべくしていきたいと思う。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	買い物、外食等の外出支援を、入居者様の心身状況やご家族の都合に合わせて行なえるよう支援しているが頻度は減っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握は出来ていないが、施設内では日々の暮らしを楽しめるよう支援している。	現時点では感染症もあるし、人手不足もあるし難しいのでは？との意見あり。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	定期的に避難訓練を実施している。町内会との連携は不十分である。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	定期的に避難訓練を実施している。避難路も増設し備えている。地域とは不十分である。	町内としてもどのように連携していくのか？いざ災害が起きた時、施設まで手をまわせる余裕があるのか？等の意見あり。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の状態に応じて、本人の出来ること、得意なことを考慮し、作業やレクリエーションを行っている。嗜好品等も出来る限り要望に応えられるようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態に応じて支援しているが、不十分である。	年を取ると中々動くのが億劫になる。等の意見あり。その中でも工夫をし出来ることを見つけた。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望になるべく添い、外出支援をしたいが、職員の体制・感染症等により不十分である。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	外出支援は行っているが、家族、地域の方々とは連携出来ていない。	自粛期間が長かった為、元に戻すのは難しい。少しずつ。等の意見あり。 事業所としても今後は外出機会を増やしていきたい。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

45	生活の継続性	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	努めてはいるが、感染症等により外出や祭事などに参加する頻度は減っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢化・介護度上昇によりご本人の意思伝達が難しくなり、参加することが減少している。	ニーズを捉えることが難しい。高齢になり外出も減る。等の意見あり。
48	本人が持つ力の活用	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	努めてはいるが、感染症等により以前より交流できる頻度・時間は減っている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護レベルも上がり、感染症の危険などもあり、交流はご家族のみとなっている。	高齢化や介護度も上がり、なかなか以前の様に交流するのは難しいのではとの意見あり。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様それぞれを尊重し、少しでも不安が軽減され、穏やかな生活を過ごせるよう心掛けられている。	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	そうなるように支援しているが不十分である。	出来ていると思い、日々ケアに当たっていると考えている。そのように考えるしかないとの意見あり。